

訂 正

2019年3月発行の『暗黒舞踏の身体経験—アフェクトと生成の人類学』第1刷において、関係者のご指摘により、正確さを欠く箇所がございました。謹んでお詫び申し上げます、ここに訂正いたします。

<6頁3行目>

誤 その一生において、暗黒舞踏の作品を再演せず、たえず新しい作品を上演した。

正 その一生において、作品名の同じものを再演する場合でも全く同じものを目指すよりは、たえず作品を深めるために手を加え上演していったと考えられる。

<12頁14-15行目>

誤 土方が雑誌などから切り取った絵画や語りからの言語的イメージが振付の記号として書かれたもので、土方の弟子の和栗由紀夫によってまとめられ、舞踏譜と名付けられた。

正 土方が雑誌などから切り取った絵画や語りからの言語的イメージが、振付の記号として書かれたものである。そして弟子各自によっても記録されていて、和栗由紀夫が自らの舞踏譜をまとめ出版することで世に舞踏譜のことを知らしめる先行文献の一部となった。

<42頁18行目>

誤 一九七五年

正 一九七四年の夏頃

<44頁1行目>

誤 アスベスト館に通っており

正 土方巽に弟子入りしており

<48 頁 表 2-8 (2013 年 9 月 13-16 日 参加者) >

誤 不明

正 12 人 (途中からの参加1名)

<76 頁 2-3 行>

誤 ストレッチは山本が東京で伊藤裕から習った

正 ストレッチは山本と白樺ケイが共に考えた

<109 頁 12-13 行目 >

誤 一九七四年、山本萌はしばらく自分のアパートから稽古場に通っていた。住み込んでいた弟子たちの方が稽古の数が多く、成長に早いのに気づいて、山本は住み込みを決意し、自らの意思で引っ越した。

正 一九七四年、山本萌はまだ大学に通っていたが、舞台上立つにあたってもっと真剣に取り組もうと住み込みを決意しアスペスト館に引っ越した。

<180 頁 5 行目>

誤 一九八五年から土方に稽古を受けたが、弟子入りしたのは芦川のもとである。

正 一九八四―八六年のあいだ土方に弟子入りしていた。

<213 頁 16 行目>

誤 正朔は、小林の姉弟子である芦川羊子の弟子であった。

正 正朔も土方の弟子であった。